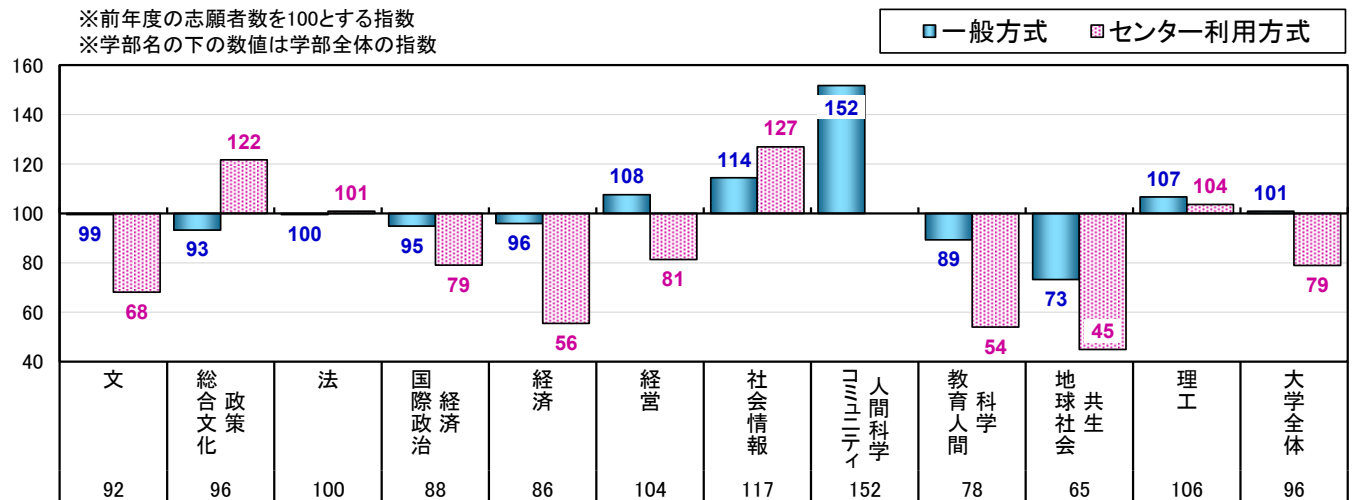


2020年度入試状況分析【私立大】

青山学院大：大学全体では2年連続減少

一般：+396人 センター：-2,978人



入試変更点

選抜方法：廃止…経営〈個別C〉
 募集人員：経済(経済)〈個別B〉…30人→50人
 経営(経営)〈個別A〉…197人→200人、(マーケティング)〈個別B〉…14人→15人
 コミュニティ人間科学〈個別A〉…50人→48人、〈個別B〉…12人→18人、〈個別C〉…10人→12人
 地球社会共生〈個別A〉…25人→21人、〈個別B〉…25人→15人、〈全学部〉…50人→45人
 理工(経営システム工)〈個別A〉…40人→35人、〈全学部〉…13人→10人
 (情報テクノロジー)〈個別B〉…25人→20人、〈全学部〉…13人→10人
 入試科目：理工(情報テクノロジー)〈センター〉…理(物 or 化 or 生 or 地学)→理(物 or 化)

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、2,582人(96)のやや減少で2年連続減少。方式別では、一般方式は396人(101)の微増だが、センター利用方式は2,978人(79)の大幅減少。前年度合格最低点をアップさせた学部・学科が多かったことで敬遠された。学部別では、開設2年目のコミュニティ人間科学(152)が大幅増加。一方で、地球社会共生(65)、教育人間科学(78)は大幅減少。

<一般方式>

- 総合文化政策(93)は、2年連続増加の反動でやや減少。
- 国際政治経済(95)は、やや減少で2年連続減少。学科別では、(国際経済)(104)のみやや増加。
- 経済(96)は、系統への人気低下でやや減少し、2年連続減少。学科・方式別では、(経済)〈個別B〉(111)は増加したが、募集人員が16%以上増加で、志願倍率は23.5倍→15.6倍とダウン。
- 経営(108)は、〈個別C〉を廃止したが、前年度大幅減少の反動で増加。学科別では、(経営)(119)が大幅増加、(マーケティング)(86)は減少。2学科とも前年度の大幅な増減の反動。
- 社会情報(114)は、2年連続減少の反動で増加。方式別では、〈全学部A〉(73)は大幅減少だが、その他の3方式は増加。
- コミュニティ人間科学(152)は、大幅増加。方式別では、唯一減少の〈個別B〉(87)は募集人員増加もあって、志願倍率は18.9倍→11.0倍へダウンし、競争が緩和。一方で、増加した3方式はいずれも大幅増加。特に〈個別A〉(199)はほぼ倍増。
- 教育人間科学(89)は、2年連続減少。学科別では、(教育)(88)、(心理)(92)と2学科とも減少。
- 地球社会共生(73)は、大幅減少で3年連続減少。方式別では、〈個別B〉(124)は大幅増加し、募集人員も40%減少で志願倍率は8.8倍→18.2倍とアップ。一方で、〈全学部〉(45)、〈個別A〉(85)は大幅減少だが、〈個別A〉は募集人員減少率が志願者数減少率とほぼ同じで、競争は前年度並。
- 理工(107)は、やや増加で3年ぶりに増加。学科別では、(情報テクノロジー)(96)のみやや減少だが、募集人員減少で志願倍率は18.4倍→19.9倍とアップ。(化学・生命科学)(118)、(機械創造工)(116)は大幅増加。

<センター利用方式>

- 文(68)は、2年連続大幅減少。5学科全てが減少し、特に(フランス文)(44)、(英米文)(50)の大幅減少が目立った。
- 総合文化政策(122)は、3年連続減少の反動で大幅増加。2方式とも増加し、〈セ・3教科〉(124)は大幅増加。
- 国際政治経済(79)は、大幅減少で3年ぶりに減少。3学科全てが減少し、特に(国際経済)(63)は大幅減少。
- 経済(56)は、前年度倍増以上の反動で大幅減少。学科別では、(経済)(98)は微増だが、(現代経済デザイン)(28)は前年度4.4倍増の反動に加え、前年度合格最低点のアップ幅が大きかったことで激減。
- 経営(81)は、2年連続大幅減少。学科別では、(経営)(77)は2年連続大幅減少。
- 社会情報(127)は、3年連続減少の反動で大幅増加。
- 教育人間科学(54)は、大幅減少で前年度の反動による大幅な増減が継続。学科別では、(教育)(48)、(心理)(63)のいずれも大幅減少。
- 地球社会共生(45)は、前年度3.1倍増の反動で志願者数が半減以下の大幅減少。
- 理工(104)は、やや増加で2年連続増加。学科別では、前年度合格最低点アップの(経営システム工)(67)、(情報テクノロジー)(80)は大幅減少したが、反対に合格最低点ダウンの他の4学科はいずれも増加。特に(電気電子工)(165)は大幅増加。